

附属幼稚園だより 第14号

令和2年10月28日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が
いっぱい幼稚園

幼児教育研究発表会

10月31日(土)は、本園の研究発表会です。コロナのことを考え、開催の仕方をずいぶん迷いましたが、小学校の体育館を借りて開催することにしました。県内の幼児教育関係者に限り、案内を出してみると、100名ほどの参加申し込みがありました。壱岐市や五島市など離島からも来ていただけます。それだけ「長崎大学教育学部附属幼稚園の研究」に興味をもっていただけているのだと、嬉しく思いました。

平成30年から「園生活を通して育まれる自己肯定感」というテーマで研究を続けてきました。子どもたちの未来は予測困難な社会といわれています。そんな未来をたくましく生き抜くために、「自分は自分であっていい」という自己肯定感を幼児期にしっかり育ておくことが大切です。

私たちは、研究を通して、自己肯定感を育むために土台となるのは「安心感」だということに気付きました。幼稚園が子どもにとって安心できる場所になると、子どもは子どもなりの「挑戦」を始めます。「挑戦」は決してすごいことができるようになることだけではありません。「謝らなければと分かっているけど、まだ謝れない」と自分の中で葛藤している子どもが、「よし、謝ろう。」と思えたときや、「友達と一緒に遊びたいけど、自分から言えないな。」と恥ずかしがっている子どもが「入れて」と言えたとき、そんなことも「挑戦」と捉えています。「挑戦」はいつもうまくいくわけではないけれど、支えてくれる教師と応援してくれる友達がいれば、また挑戦できます。そして、一つ乗り越えたときに、子どもはとてもいい表情をします。それは、たぶん「なりたい自分」「好きだと思える自分」が発揮できたから顔が輝くのです。それを私たちは「自分らしさ」と捉えています。

そのような姿を、教師がしっかり援助し、導き「自分らしさ」が発揮できることを繰り返して、自己肯定感が育まれていくということを、研究発表会に参加される先生方に伝えたいと思います。

附属幼稚園は、長崎県の幼児教育をリードできる存在であらねばと思います。附属学校の使命である研究に関して、保護者の皆様には様々な面で御協力いただき感謝しています。



11月行事予定

- 2(月) 代休日
- 5(木) ほしの子ランド
- 6(金) 一緒に遊ぼう「秋」親子遠足
- 9(月) 参加観察実習
- 10(火) 保育参観(必須)、芋ほり(年長)
- 11(水) 保育参観(必須)
- 12(木) 避難訓練、附小栄養教諭の話(年長)
- 13(金) 弁当一時終了日
- 17(火) どんぐり公園行き(全)
- 18(水) 絵本代集金日
- 27(金) 親子清掃、育友会全体会
- 16(月)~19(木) 個人面談
- 30(月)~12月4(金) 休園